

## トムス レクサスLC リヤバンパーディフューザー

このたびは、トムス リヤバンパーディフューザー（以下リヤディフューザー）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照してください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。

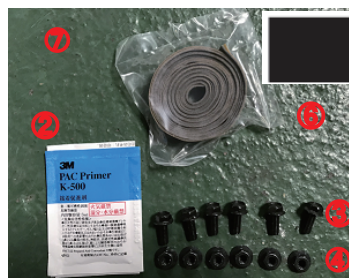
**適応車種** 本製品は以下の車種に対応しています。（2017年11月現在）

適応車種
レクサス LC (URZ100) 平成29年3月～

**取り付け上のご注意** 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

- リヤディフューザー取り付け作業は、必ず作業員2人で行ってください。
- リヤディフューザー脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルト等はしっかり締めてください。また、走行前にゆりみがないかチェックしてください。  
リヤディフューザーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
- 車両をジャッキアップする際は、必ずリジットラック等で車両を固定してください。
- ビス取り付けの際は手締めを行ってください。電動ドライバー等を使用しますと部品を破損する恐れがあります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ずプライマーを塗布してください。  
(詳しくは「3M PACプライマーK-500 取扱説明書」を参照の事)  
ボディーコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディーコートは塗装用コンパウンド(細目以上)で剥離し、アルコール等で拭き取り除去してください。
- 両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼り付けを行ってください。
- 両面テープの接着力低下防止のため、本製品の装着直後(24時間以内を目安)の洗車は行わないでください。両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
- 純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
- スポイラー装着により、標準バンパーより地上高約-35mm低くなります。
- 本製品は車両登録後の取り付けを前提としています。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。

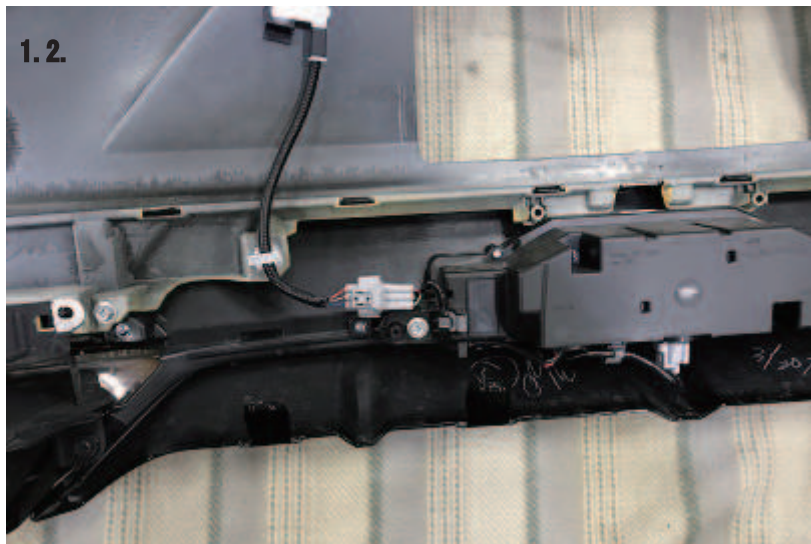
**構成部品** 本製品は以下のパーツで構成されています。欠品や破損等が無いことをご確認ください。



- ①リヤバンパーディフューザーx1、②パックプライマーx1 ③ボルト (M6 x 16) x 6 ④M6ナットx6  
⑤ブラケットx2 ⑥カッティングシートx2 ⑦両面テープ

## 取付手順

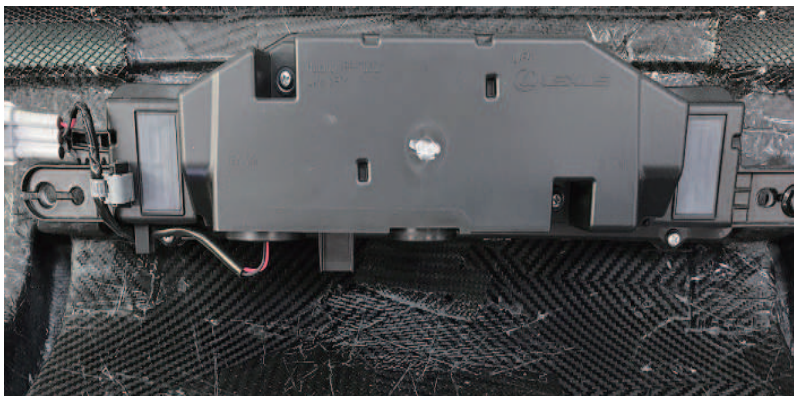
1.2.



1. 純正リヤバンパカバーを整備書を参考に  
に取り外す。

(配線の切断, 損傷に注意する。)

2. 取り外した純正リヤバンパカバーから  
リヤバンパエクステンションSUB A  
SSY CTRを取り外す(再使用しない),  
バックランプ、リフレクターを取り外す。  
(再使用する。)



3. 2. で取り外したバックランプを③ボルト、④  
ナットを使用し①リヤディフューザーに  
取り付ける。



4. 取り外したリフレクター裏面の突起部を左図を  
参照にカットをする。(赤線指示部分)

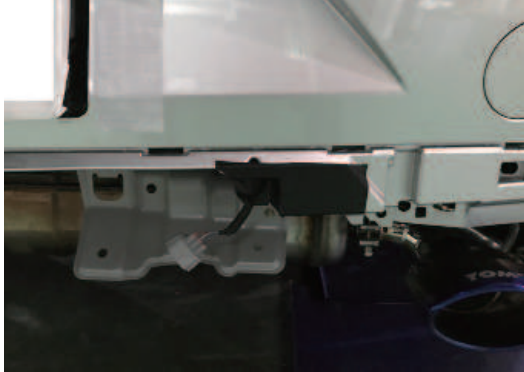
①リヤディフューザーに⑦両面テープを使用し  
貼り付ける。

注意!

カットした後はやすり等を使用し平面に処理をする。  
両面テープを貼り付ける前に必ず脱脂処理をする事。



5. 純正リヤバンパーを車両に取り付ける。



**注意 !**

プライマー使用に際しては、3M PACプライマー-N200取扱説明書に従い使用する。  
 乾燥の標準状態：23℃で10分～3時間  
 ほこり、汚れ、水滴が付着しないようにし、十分に乾燥させる。  
 気温15℃以下では、加熱器を使用し温める。  
 塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。

6. 純正のナンバーフレームの下側を取付け、  
 ①リヤディフューザーをナンバーフレームから約1.5mm隙を目安に仮あわせをする。その際にメッシュ部分から見える外販色部分を確認し、マスキングテープ等で両面テープ接着面をマーキングする。

7. ①リヤディフューザーを一度取り外し、メッシュ部分から見える外販色部分を⑥カッティングシールをカットし車両側に貼りつける。また両面テープ貼り付け部を脱脂し、②パッキンプライマーを塗布する。

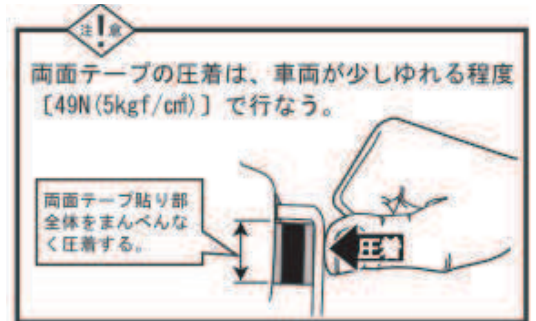


塗布範囲は、リヤディフューザー  
 端末からはみだしがないように注意して行う。  
 左図にあるプライマー注意書きをよく読む事。

8. ①リヤディフューザーの両面テープ離型紙を約10mm剥がし表面側にマスキングテープで貼りつける。  
 ⑤ブラケットを③、④を使用し①リヤディフューザーに仮付けをし、純正クリップ（左右端末部）を使用しリヤバンパーに仮付けをする。

9. ⑤ブラケットを車両側に③、④を使用して仮止めをすし①リヤディフューザー装着位置を再度確認をして、両面テープ離型紙を車両中心から外側に向けて剥がす。

10. ③、④のボルト、ナットを本締めをし両面テープ接着面を圧着をする。



両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、ボディに付かない様に気を付けて作業を行う。

11. 各部位の閉め忘れが無いが再度確認をする。

